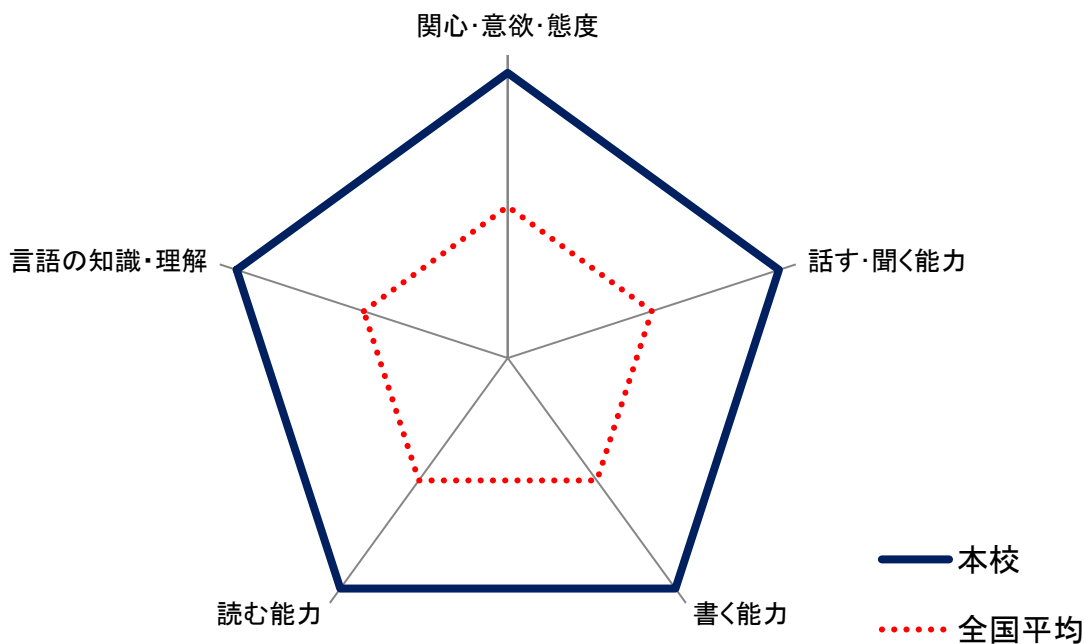


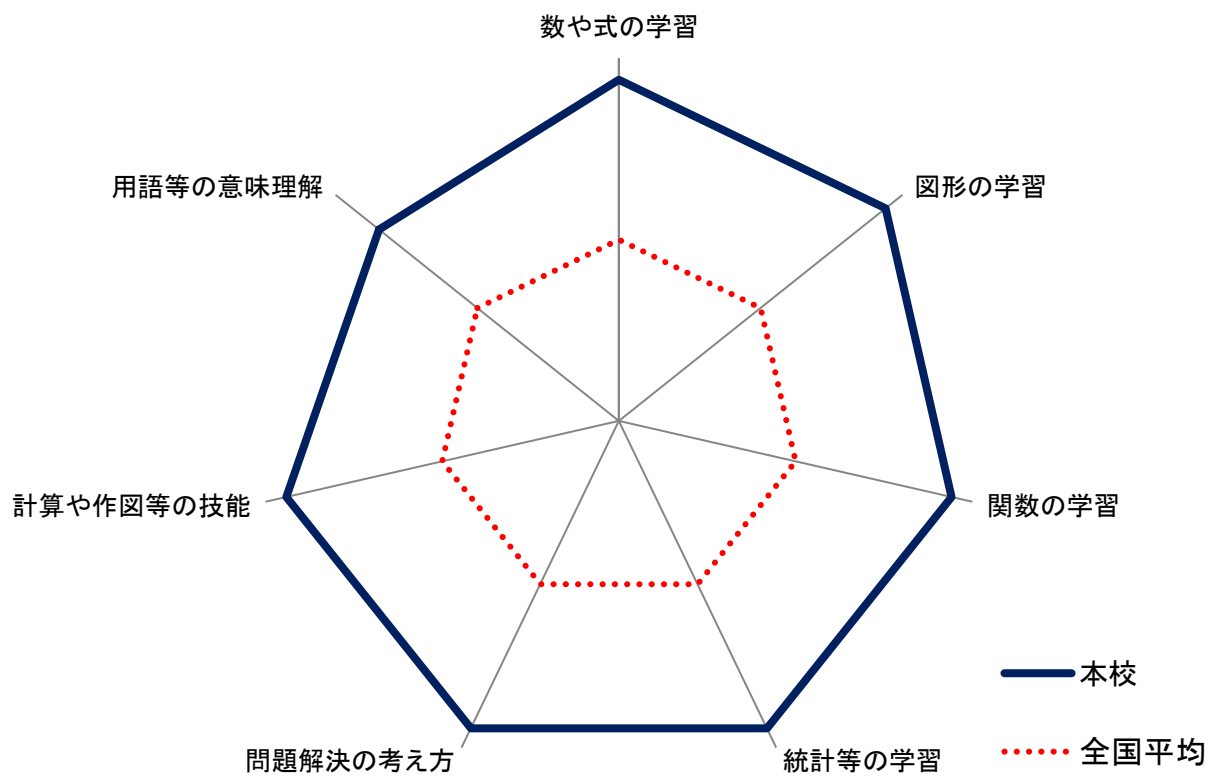
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

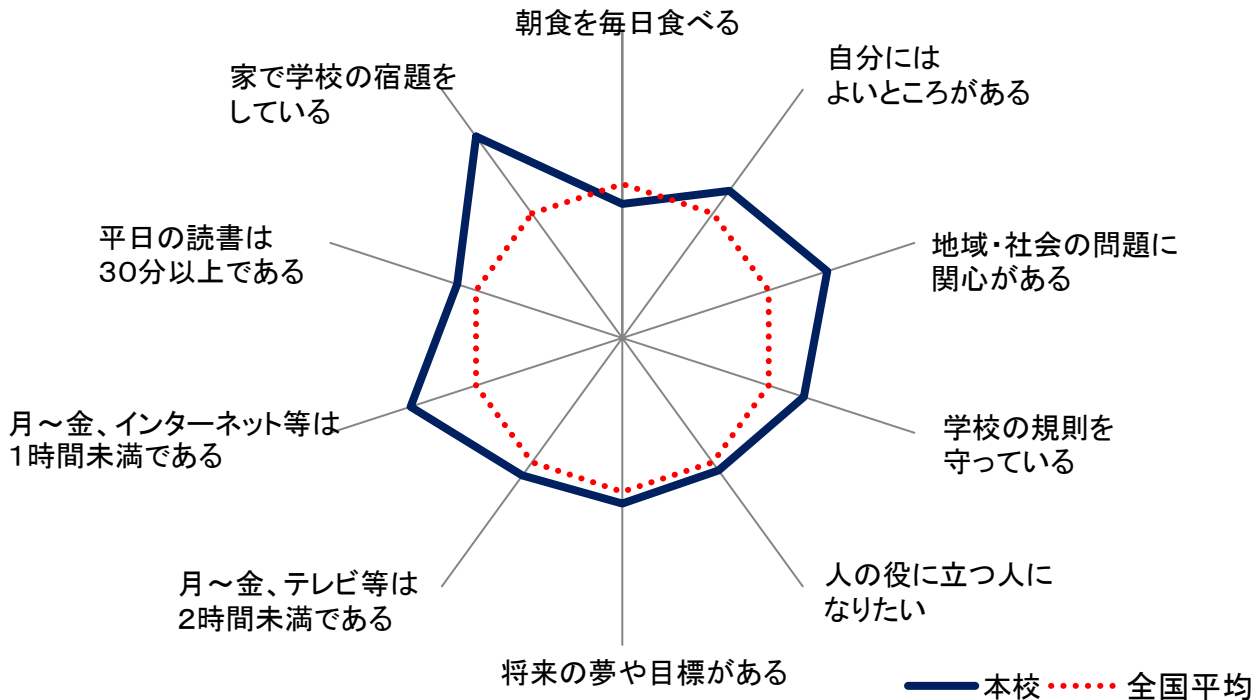
【国語】



【数学】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 分析

各教科観点別の特徴を見ると、全て全国の平均正答率を上回っているが、数学において「用語等の意味理解」が比較的弱いことが分かる。最初にその項目を指導する際に、本質をよく理解させる工夫が必要であり、その理解度を授業やテストの中で確認することを徹底したい。

学習や生活の状況の結果を見ると、「家で学校の宿題をしている」、「月～金、インターネット等は1時間未満である」の項目が全国平均を明らかに上回っている。これは、本校生徒の勤勉さを示すものであり、更に質の高い学習ができるように工夫していきたい。また、「地域・社会の問題に関心がある」の項目が高くなっているのは、文部科学省のスーパー・グローバル・ハイスクールに指定され、宇和島について考える機会が増え、地域を愛する心が強くなっているからであると考えられる。一方で、「朝食を毎日食べる」の項目が全国平均を下回っており、健康面の心配がある。授業に集中して臨むためには、朝食は不可欠であり、今後、指導していきたい。

今回の結果を踏まえ、各教科でのアクティブ・ラーニングの充実を図り、学んだことを活用して、自己表現ができる生徒の育成に努めていきたい。